

◎機能概要



A、通常バージョン



B、笑顔バージョン



- 青 LED の上に、「わからない(小さすぎる)」のアイコン
- 緑 LED の上に、「笑顔(ちょうどよい)」のアイコン
- 赤 LED の上に、「うるさい(大きすぎる)」のアイコン

※笑顔バージョンは、赤 LED の上のアイコンが、「元気な声」が出せていることを肯定的に評価するために“笑顔”のアイコンになっています。

自分の声の大きさが目で見て分かる機器です。発声した音量を、マイクロフォンで定量的にとらえ、量に応じて青・緑・赤の LED で表示します。LED 点灯の状態により、発声した音量が適切かどうか客観的に判断することができます。発達障がいでも音量コントロールが苦手な方だけではなく、難聴の方の音量訓練などの用途もあります。

◎特長

発達障がいの子どもは、絵や形になっていないものを想像することが苦手です。形のない「声の大きさ」を分かりやすく伝えるために、ボイスルーラーの目に見える LED 表示はとても便利です。LED の上には人の顔のアイコンがあるので、LED の色とともに誰にでもわかりやすくなっています。ストラップを付けて持ち歩いたり、卓上に置いたりして常に自分の声の大きさをチェックするのに便利です。



◎困っていること・解決したい状況

発達障がいのために教室や乗り物で大声を出すなど、音量を周囲に合わせることが難しい状況。聴覚障がいのために自分の音量確認が難しい、また言語障がいのために発声トレーニングが必要な状況。

◎使用目的・目標

自分がどのくらいの大きさの声で話しているのかを認識し、場面に応じて適切な音量のコントロールができるようにする。

◎使用方法

つい、「もっと静かにしなさい」や「うるさい！」などと言ってしまうがちですが、このような表現は抽象的で子どもたちには伝わりにくいものです。このようなときに「緑の声で話そうね」というように「ボイスルーラー」の色に置き換えて説明することで、子どもも理解しやすくなります。



また、その際に“静かにしなければならない理由”をきちんと伝えることで、子どもも納得してすんなりと静かにすることができます。

子どもをしかるために使うのではなく、子どもが自分で、「ボイスルーラー」という客観的な目安をもって、自分でちょっと気が付ける・注意できる、そしてそれが自信につながる、自尊心を高めていけるというように、子どもを信頼してゆっくり使っていって下さい。

☆テレビの音量調整にも活用！～テレビの音量を上げすぎてしまう場合に～

「ボイスルーラー」は、人の声に反応することを主目的にしていますが、日常的によくあるテレビの音量調整の困難さにも活用できます。(通常バージョン利用)約 80db以上の大きな音の場合には赤の LED が点灯しますので、それより小さい音で点灯する緑の LED で収まるようにします。

音の大きい・小さいという概念が、違う色の LED・点灯する LED の数量という、目に見えるわかりやすい目安に置き換えられ、はっきりわかります。

また、周囲の人に何度も大きすぎると言われるより、双方が気持ちよく対処できます。

乗り物の中や発表のときなどさまざまな場面のイラストや写真を用意し、“この場面であればどの位の声が適切か”ということと一緒に提示することで、因果関係がわかりやすくなります。

赤のランプがひとつ点くくらいの声で、
音読しよう。

バスに乗っているときは、
ランプがつかないようにしよう。



◎効果

ボイスルーラーを使用しながら子どもと一緒に声の大きさをチェックすることで LED の表示が声の大きさで変化しているということを理解しやすくなります。また、客観的な測定および評価ができるので、指導者も子どもに対して説明がしやすく、子どもも納得することができます。

赤の LED がつくと自分が大声を出していることに気づき、声の調整ができるようになったという利用者からの声があります。声の小さな子どもに関しては、ボイスルーラーがあることで自分の声がどれだけ小さいかが自覚でき、緑の LED がつくように気をつけることができるようになったという声もあります。

☆使用者の方からのコメント

〈通常バージョンご使用者〉

* 私たち特別支援学校では、見えないものを「如何に見えるようにするか」ということも大きな支援の一つであると考えています。その点で、ボイスルーラーは、生徒にとっても私たち教師にとってもとても良いツールになっています。

* 声の大きさというものに関心をもつようになった子もいる。

* ADHD で感情のコントロールができず興奮して大声を出すことがある。その際に使用して目に見えることで自分が大声を出したことに気づき、声の調整ができるようになった。

* 「うるさい」と言わなくてもよくなった。

* 声の大きさが目で見て分かるので、声の大きさを具体的に伝えることができる。

* 感情表現のときに特に声が大きくなりがちなので(叫ぶことが多い)ボイスルーラーをみて調整している。因果関係がわかりやすい。

*聴覚障害の児童は、個別指導のこたばの時間に使用し、発声時の声の大きさを視覚的に確認している。ちょうど良い声の大きさの息圧等の練習に役立つ。発音・発語訓練時に指導側とは別に児童用のモニターとして分かりやすくして良い。

*目で見て分かるので目標の設定ができ、その大きさの声が出るように頑張ることができている。客観的な評価でよく分かるので、頑張りをほめやすくなった。

☆活ユーザーのご本人様から

「声の大きさを自分で調節できるから便利」とのご感想をいただいています。

「自分の声量がわかるようになって、歌が適切な音量で歌えるようになった」そうです。

自分で大きな声を出しているつもりはなく、ボイスルーラーで確認できるようになる前は、小さな声で歌っていたと思っていたそうです。

大きな声で、周囲の方が困っていると思っていましたが、困っているのはご本人だったのです！

〈笑顔バージョンご使用者〉

*私はボイスルーラーを、自分の声量調整のために購入しました。難聴のため自分の声の大きさが分からなくなり、喋ると声が小さいようで何度か聞き返されます。職場に持っていってみると、形も可愛いので、みんなが興味を持ってくれました。まわりの人がどれくらいの声量で話しているかが分かり、自分の声もこれくらいでいいのだなと体感することができました。

*終わりの会での発表の際、質問に対して答える声が小さかったが、徐々に周りの人に聞こえる声で発表できるようになってきた。

*朝の会や何か発表をする時、卒業式で呼ばれて返事をする練習の時など、できるだけ大きな声を出す練習の時に、子どもの頑張りをいっしょに確認して、積極的にほめる時に使っています。

☆「ボイスルーラー」のお問合せは、(株)コムフレンドまで お気軽にどうぞ

**COM FRIEND**
株式会社 コムフレンド

〒601-8141 京都市南区上鳥羽卯ノ花 69-2

TEL:075-672-8400 FAX:075-672-8401

E-mail: contact@com-friend.co.jp

URL: <http://www.com-friend.co.jp>